



立一 田中 議  
安全対策について  
通園・通学路、児童公園の

通園・通学路、児童公園の安全対策について

質問

登下校中の児童・生徒に死傷者が出る痛ましい交通事故が各地で発生したが、その後の文部科学省の安全確保の指

示に基づく、市の通学路の点検・見直しの状況は。

また、市内の公園の遊具等は塩害、雪害による損傷が激しいと思われるが、安全点検の現状について伺う。

教育長答弁

登下校について、小中学校に



徹郎 松尾 議  
指定管理者制度について

指定管理者制度について

質問

行政改革を進める国の方針の一環として、指定管理者制度が創設された。この制度の導入により、公共施設においても民間の競争原理による経

費軽減、サービスの向上等が期待されている中、次の点について伺う。

- ・従来の管理委託制度との違い
- ・指定管理者制度を導入した市内の施設数
- ・導入後の現状、効果、課題
- ・今後の導入予定

は通学路の危険箇所等を再確認するよう指示しており、この報告の取りまとめの後、対応していきたい。

市の公園の遊具等については、昨年度、全地域で点検を行なった。また、今年度から2か年で「公園施設長寿命化計画」を策定する予定としており、遊具の効率的な運用と施設の安全確保に努めていきたい。



市長答弁

指定管理者制度は、多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間事業者が有するノウハウを広く活用することが有効であるという考え方に基づいて、住民サービスの向上や行政コストの削減、施設の活性化を目的に導入されたものである。

管理委託制度との相違点については、指定管理者制度では、公の施設の管理に関する権限を指定管理者に委任できることや、民間事業者を受託者として選定できる点等が挙げられる。

自転車利用のまちづくりについて

質問

最近、環境や健康、経済的な事情などから、日常的に自転車を使用する人や、サイクリングに関心を持つ人が増えている。市民の健康、市内の観光に自転車を活用する自治体もあるが、このことについて市の考えを伺う。

市長答弁

観光面については、自転車のイベントや、レンタルサイクル

指定管理者制度を導入した市の施設数は現在、52施設である。内訳は、集会所などの地域密着型施設が35、観光型施設が12、福祉施設が1、斎場などの市民サービス型施設が4施設となっている。

現状については、制度導入前の管理受託者が指定管理者に引き続き移行した事例が大半であるが、近年は民間事業者による指定管理者もあり、事業者の有するノウハウを活かした管理・運営が実施されていると認識している。

導入の効果は、管理委託制度と比較し、使用許可の手續

などが実施されているが、関係団体と連携を図りながらさらに活用を進めていきたい。

健康増進の面については、自転車が膝や腰に負担の少ないもので健康づくりにも効果的であることから、自転車による健康づくりの啓発を進めていきたい。

《その他質問項目》

- ・糸魚川市のWeb戦略について
- ・並行在来線について
- ・農業振興について

きや施設の管理・運営等が一元化される点では効率的と考えている。

課題としては、指定管理者の選定方法や管理委託料の積算について、指定管理者制度の導入の妥当性を含めた検証等が挙げられる。

今後の導入については行政改革実施計画の中で検討していく。

